

奈良工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	実践化学英語	
科目基礎情報							
科目番号	0017			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	物質創成工学専攻			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	適宜プリントを用いる						
担当教員	林 啓太						
到達目標							
科学論文の読解、内容の要約、および論文で多用される英文の記述について理解する。 英語で表記された科学論文を通して自らが主たる分野を中心に様々な分野へ幅広く興味を持てるようになる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	学術論文に用いられる文章が理解できる		頻繁に学術論文に用いられる文章が理解できる		頻繁に学術論文に用いられる文章が理解できない		
評価項目2	学術論文の構成を理解し、構築することができる		学術論文の構成が理解できる		学術論文の構成が理解できない		
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
専攻科学学習教育目標 (1) 専攻科学学習教育目標 (3)							
教育方法等							
概要	科学論文を通して、どのような表現方法が使われているかを学ぶ。 いくつかの論文を和訳して、最新の科学技術への理解を深める。 実際に自らの研究に関連した論文の内容を和訳・英訳する。						
授業の進め方・方法	本科5年間で学んだ化学英語表現を基礎として、実践的な科学論文の読み方を身につけるとともに、技術者、科学者として必要とされる英語表現を習得する。 英語で記載された論文等に関して要点を迅速に読み解く練習を行う。						
注意点	関連科目 英語、専門科目全般 学習指針 当該科目は、学生の自発的な取組が特に重要であり、努力が必要である。 事前実習事後展開学習 適宜、授業の前後でレポート課題を出題する。また自主的に英語論文にふれることを日常から行うこと。						
学修単位の履修上の注意							
自学自習部分の評価は課題の提出により評価する。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		本授業における学習の意義や内容、評価の方法について解説する。		
		2週	論文の構成		科学論文の一般的な構成について説明できる。		
		3週	論文の概要読解1		科学論文の全体的な概要をつかむための読解法について学び、概要を迅速に理解できる。		
		4週	論文の概要読解2		科学論文の全体的な概要をつかむための読解法について学び、概要を迅速に理解できる。		
		5週	論文読解 (Introduction)		科学論文における緒言 (Introduction) の読み取り方について学び、論文の緒言 (Introduction) を説明できるようになる。		
		6週	英作文 (Introduction)		科学論文における緒言 (Introduction) の読み取り方について学び、論文の緒言 (Introduction) を説明できるようになる。		
		7週	論文読解 (Method)		科学論文における実験方法 (Method) の読み取り方について学び、論文の論文読解 (Method) を説明できるようになる。		
		8週	英作文 (Method)		実験方法 (Method) において多用される英語表現、実際の文章作成方法について学び、英文作成ができる。		
	2ndQ	9週	論文読解 (Results and Discussion 1)		科学論文における結果と考察 (Results and Discussion) の読み取り方について学び、論文の結果および考察 (Introduction) を説明できるようになる。		
		10週	論文読解 (Results and Discussion 2)		科学論文における結果と考察 (Results and Discussion) の読み取り方について学び、論文の結果および考察 (Introduction) を説明できるようになる。		
		11週	英作文 (Results and Discussion 1)		結果と考察 (Results and Discussion) において多用される英語表現、実際の文章作成方法について学び、英文作成ができる。		
		12週	英作文 (Results and Discussion 2)		結果と考察 (Results and Discussion) において多用される英語表現、実際の文章作成方法について学び、英文作成ができる。		

		13週	論文読解（Conclusion）	科学論文における結論（Conclusion）の読み取り方について学び、論文の結言（Conclusion）を説明できるようになる。
		14週	英作文（Conclusion）	結論（Conclusion）において多用される英語表現、実際の文章作成方法について学び、論文の結論（Conclusion）を説明できるようになる。
		15週	前期末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	課題	合計
総合評価割合	50	0	0	0	0	0	50	100
基礎的能力	25	0	0	0	0	0	25	50
専門的能力	25	0	0	0	0	0	25	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0